



# JPI催しのご案内

## 2024 12

公益社団法人日本包装技術協会

### — 2024年度の本催しについて —

2024年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で皆様に情報発信をさせていただきます。

#### ●開催要領

**日時** ①令和6年12月4日(水) 13:30~15:00 / ②令和6年12月5日(木) 14:00~16:25 / ③令和6年12月10日(火) 15:00~16:30  
④令和6年12月16日(月) 14:00~15:00 / ⑤令和6年12月18日(水) 13:30~15:30

**参加費** JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名

#### ①令和6年12月4日(水) 13:30~15:00 JPI中部支部主催

#### 【テーマ】被災者の命を守る段ボールベッドのその後 ~能登半島地震の対応について~

東日本大震災をきっかけに考案した段ボールベッドは、避難所での健康被害の原因となる雑魚寝の解消を目指したものであった。その後も、熊本地震や西日本豪雨災害など深刻な自然災害が毎年のように発生しており、これまで22の災害の延べ500ヶ所以上の避難所訪れて避難所環境改善の重要なツールとして可能な限り導入してきた。しかし、被災者支援は災害対策基本法で市町村にその責務があるとされ、段ボールベッドの導入も被災市町村の意向に左右されることが多く、必ずしも毎回迅速に導入されるとは限らない。能登半島地震では、これまでの実績にもかかわらず導入は難航し、避難所環境は迅速に改善しなかった。今後は、避難所の標準化が求められる。

【講師】Jパックス株式会社 代表取締役

水谷嘉浩氏

#### ②令和6年12月5日(木) 14:00~16:25 JPI西日本支部・東北支部共催

#### 【テーマ】2024日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

##### ●内容

	時間	受賞名及びテーマ
①	14:00~14:25	《包装アイデア賞》『こんなトレーを待っていた！A式ベースの「サツとスタックトレー」』 株式会社トーモク 開発営業第一部 野尻 佳佑 氏
②	14:30~14:55	《公益財団法人日本生産性本部会長賞》『省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材』 TOTO株式会社 ウォシュレット開発第三部 包装・印刷部G 伊藤 勇樹 氏
③	15:00~15:25	《輸送包装部門賞》『ノンスリップ・エコボックス』 TOTO株式会社 衛陶設計部 衛陶生産設計 第二G 中島 みのり 氏
④	15:30~15:55	《ロジスティクス賞》『2024年問題を解決した輸送包装容器の改善事例 適正包装が生み出した製品不良ゼロと包装廃棄物ゼロ』 株式会社東北ウエノ 営業技術部 田原 祐樹 氏
⑤	16:00~16:25	《ロジスティクス賞》『1t積載できて、リサイクルしやすい、ハイブリッドパレット！』 《輸送包装部門賞》『支柱脱着式積み輸送用デッキ』 《輸送包装部門賞》『小型電子顕微鏡のスロープ付き梱包箱』 ロジスティード株式会社 ロジスティクステクノロジー部 金井 俊介 氏

#### 申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までにお願います。

#### 個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

#### 参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
- ・お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて **参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ※ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、**ご注意ください**。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

#### ◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970  
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

③令和6年12月10日(火) 15:00~16:30

JPI本部主催

## 【テーマ】古紙の回収・利用の現状と発生量減少に伴う対策について

デジタル化の進展により新聞や雑誌等の発行部数が急減しており、それに伴い古紙の発生量も減少している。当センターの調査によると、古紙の品種によっては今後数年で必要量が足りなくなると予測され、古紙発生量減少への対策が求められる。対策として考えられるのは、「可燃ごみに混入しているリサイクル可能な紙類（特に雑がみ）の回収促進」、「従来古紙として使えなかった紙類を使いこなす技術革新」、「リサイクルのことを考慮した紙（パッケージ）の作成」などである。

古紙の回収・利用の現状と古紙の発生量減少予測の説明、および古紙発生量減少の対策に関する業界関係者や当センターの取り組みの紹介を行う。

【講師】公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課担当課長

濱野 彰吾氏

④令和6年12月16日(月) 14:00~15:00

JPI東北支部主催

## 【テーマ】3GeV高輝度放射光施設NanoTerasuの概要について

明年1月30日(木)に開催する施設見学会に先駆けて、今年度の4月より宮城県仙台市で稼働を開始した国内初の第4世代放射光施設である「3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu」の概要説明を行います。

今回の説明聴講のみの参加も可能ですので、興味のある方はぜひご参加下さい。

※NanoTerasu（ナノテラス）とは

宮城県仙台市の青葉区に、量子科学技術研究開発機構（QST）を国の主体機関とし、光科学イノベーションセンター（PhoSIC）を代表機関とする地域パートナーが、官民地域パートナーシップの枠組みにより新設した次世代型の放射光施設です。1メートルの10億分の1というナノの世界を観察することができる世界最高性能の先端大型研究施設で、今年4月より稼働を開始しています。電子を加速器によりほぼ光の速さまで加速し、太陽光の約10億倍にも及ぶとても明るい放射光というX線を発生させ、これを物質に照らすことにより観察を行ういわゆる巨大な顕微鏡です。その世界最高水準の分析性能によって、学術の最先端研究だけでなく、食品から素材開発、医療までさまざまな分野でイノベーションを起こす可能性が期待されています。

【講師】国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 NanoTerasuセンター 高輝度放射光研究開発部長 加道 雅孝氏

### ◆第305回見学会 東北支部主催

『3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu（ナノテラス）』見学会

#### ●開催要領

開催日時：2025年1月30日(木) 14:00~15:00

見学先：『3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu（ナノテラス）』見学会

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 ナノテラス

アクセス：仙台駅から仙台市営地下鉄東西線 青葉山駅南1出口より徒歩15分または青葉山連絡バス（ナノテラス便）にて約10分

集合場所・集合時間：現地集合を予定しております。

集合場所・集合時間はお申込者に改めてお知らせします。

参加費：無料

定員：20名 \*定員になり次第締め切りとさせていただきます。

#### 【お申込み方法】

\*お申し込みは当会HPにて先着順で受け付けさせていただきます。

\*お申し込みが定員に達した場合、1社における参加人数を制限させていただきます場合があります。

\*都合により参加をご遠慮いただく場合がございます。

⑤令和6年12月18日(水) 13:30~15:30

JPI関西支部主催

## 【テーマ】パッケージを取り巻く世界動向 ~欧米の最新規制状況~

EUでは4月に欧州議会を通過したPPWR（包装・包装廃棄物規則）が10月にはEU官報で周知される。米国でも全米各州の州議会でもEPR法（拡大生産者責任法）の審議が活発になった。米国政府も11月の国際プラスチック条約交渉では化石由来バージンプラスチックの生産制限案を支持する姿勢に転換する予定だ。日本も来年の通常国会で包装のリサイクルや再生材活用法案が上程される。世界的な包装規制の強化に向けた取り組みを考える。

【講師】株式会社 パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

森 泰正氏